

## ステークホルダーの皆様へ

創業者である川崎正蔵の「そのわざを通じて国家社会に奉仕する」という理念のもと、1878年に川崎築地造船所として始まった川崎重工グループは、時代の要請に応じて、鉄道車両、航空機に進出し、さらにエネルギー・環境製品や各種産業機器、モーターサイクルなど、幅広いフィールドで事業を展開する総合重工業として発展してきました。

その間、当社グループは一貫して、多様で高度な技術を擁してユニークで革新的な製品やサービスを生み出すことで、時代によって移り変わるさまざまな社会課題の解決に貢献し、新たな価値を創造し続けています。

今後も、当社グループは「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」というグループミッションを実現するべく、独自性・革新性を追求しながら、テクノロジーの頂点を目指し、多様なお客様の要望にこたえる製品・サービスを、地球環境との調和を図りながら提供してまいります。

この「Kawasaki Report 2017」を通じて、このミッションの実現に向けた当社グループの思いや事業戦略、地球環境への取り組みや社会的責任を果たすための活動をご理解いただき、皆様と当社グループのコミュニケーションが、これまで以上に深まれば幸いです。

取締役会長

村山 滋

代表取締役社長

金花 芳則

### ものづくりの軌跡、そして未来へ

- 1878年 ● 創業者川崎正蔵が川崎築地造船所(東京)を開設
- 1896年 ● 株式会社川崎造船所(神戸)創立(初代社長・松方幸次郎)



川崎正蔵



松方幸次郎

- 1897年 ● 貨客船「伊豫丸」(727総トン)進水(川崎造船所第一番船)



1900年

- 1942年 ● 3式戦闘機「飛燕」の量産初号機完成



- 1961年 ● 当社で初めて海外にプラントを輸出(台湾向けセメントプラント)

- 1964年 ● 0系新幹線電車を国鉄に納入



- 1969年 ● 初の国産産業用ロボット「川崎ユニメート2000型」1号機完成



- 1971年 ● 自社開発の川崎サイドスラスト初号機を納入

- 1972年 ● モーターサイクル「Z1」を発売



- 1974年 ● 自社開発のガスタービンS1A-01試作機完成。1977年PU200ガスタービン発電設備の初号機納入



- 1975年 ● アメリカでモーターサイクルの生産を開始

- 1981年 ● 日本初のLNG運搬船を引き渡し

- 1983年 ● 5か国共同によるエアバスA320ファミリー用ターボファンエンジンV2500の開発開始

- 1991年 ● 英仏海峡海底鉄道トンネル掘削機、掘削に成功



- 1996年 ● 創立100周年

2000年

- 2001年 ● アメリカで米国唯一の鉄道車両一貫製造工場が本格稼働

- 2005年 ● ボーイング社の次世代航空機787型機の開発・生産に参画

- 2007年 ● 自社開発のカワサキグリーンガスエンジンが、世界最高の発電効率を達成

- 2012年 ● インドに、建設機械用油圧機器の合弁会社を設立し、世界六極体制(日・英・米・中・韓・印)を構築

- 2015年 ● 世界初の機械駆動遠心過給機(スーパーチャージャー)を備えた「Ninja H2R/H2」を発売



- 2016年 ● 創立120周年

川崎重工グループは  
世界最高水準の技術でさまざまな社会課題の解決に貢献し  
新たな価値を創造し続けます。